

鉄砲洲神社 論語素読 解説

(平成 23 年 2 月 18 日)

述而第七

10 子 顔淵に謂いて曰く、之を用うれば則ち行い、之を舍けば則ち蔵す。
唯 我と爾とのみ是れ有るかなと。子路曰く、子 三軍を行らば、則ち誰と与にせ
んと。子曰く、暴虎馮河、死して悔無き者は、吾 与にせざるなり。必ずや事に臨
みて懼れ、謀を好みて成さん者なりと。

孔子が顔淵に言いました。

「世の中が私を必要とする時は出て働き、必要としない時は隠遁する。そういうことの出来る人物は、私とお前くらいかな」

子路が少し離れた所で聞いていて、なぜ顔淵ばかり褒めるのか、私はどうなのかとばかり、

「孔先生が前面に出て、戦争をする時には、大きな国の指揮をとるであろうけれども、誰と一緒に連れて行こうと考えますか・・・私以外にないでしょう」と子路が孔子に言いました。

一軍は 12500 人を率いています。天子は六軍を率い、大国は三軍、中ぐらいの国は二軍、小さい国は一軍です。

それに対して孔子が、「だから子路は駄目なんだ。武器を持たずに虎と戦い、舟がなくても大河を渡ろうとする。死んでも後悔しないような者とは一緒に仕事は出来ない。必ず慎重に構える人間が良いし、きちんとした計画を立てて成功するような人間でなければ一緒に行動を共にしたくないものだ」と子路をたしなめています。

これを今の時代にあわせると、民主党そのままだと思います。昨日、民主党の中で 16 人が新会派結成届けを出しましたから、これはもう完全に菅さんを降ろそうとするものです。

「自分が必要とされないのであれば隠遁する」と孔子は言っていますが、菅降ろしについて見ると、政権の座にしがみつくと菅さんと、降ろしたくてどうにもならない周りの連中と、論語に比べて何と無様なことかと思えます。菅さんの場合は解散するか総辞職するしかないの、多分解散をするのだらうと思えます。総辞職はプライドがズタズタになるから、よほどのことでない限りしないと感じています。

「慎重に構えてきちんとした計画を立てて行動する人間でなければ、一緒に行動しない」という部分で考えると、後ろから手を回して今回の新会派を設立させたのは小沢さんでし

よう。小沢さんは次々に謀をめぐらして、次々に自分の部下に新しいうねりを起こさせようとしています。そして最終的に笑うのは自分だと思っているのでしょう。

この文章は、そのまま今日の民主党に関する新聞記事が透けて見えると思って読みました。

11 子曰く、富にして求む可くんば、執鞭の士と雖も、吾亦之を為さん。如し求むべからずんば、吾が好む所に従わん。

孔子が言うには、正しい方法で富が得られるならば、私は御者にでも何にでもなるだろう。(世間で嫌がっている仕事もする)。けれども今の時代は、不正な手段でしか富が得られないのだから、私は自分のやりたいようにやる。古の聖人の道を追うと言っています。

今の時代でみると、鳩山さんは正しい道でお金を得たのではないし、不正な手段で得たわけでもない。何とも面妖な感じでお金を得たと感じます。

今は閣僚の財産を公表していますが、蓄財に長けている人はどんどん財産を増やしていると感じますし、そういう才能がない人は全然増えません。或いは、まるっきり隠してしまっているのかもしれませんが。ただ、隠しても今の時代は分かりますから、蓄財の方法が下手な人はもろに出るなという感じがしました。

12 子の慎む所は、斉戦疾なり。

孔子が慎んでいるところは、祭祀と戦争と病気である。

国家の存亡に関する大事な祭祀の時には、神のご託宣を聞くには自分が透明の状態にならねばいけないから、斎戒沐浴して十分に氣をつけて祭を行う。国民の真が神に通じるか通じないか、神が祀りを受けるか受けないかを心を落ち着けてよく聞く。そこを一番慎んでいるということです。

今の時代、総理大臣が慎むところは斉・戦・疾などということは、どこかに飛んでしまっています。